[3年生進路通信]

進路ナビ

豊中市立第十五中学校 2021 年 度 41 期 生 進 路 指 導 委 員 会 11月8日 (月) 発行

「高校の先生による出前授業」では、高校の先生が『とっておきの授業』を41期生のみなさんのためにしていただきました。みんなの表情は、すごく生き生きとして、教室からは楽しそうな空気の中で受講している様子が見えました。

また、「高校の先生のお話を聴く会」では、真剣に話を聴いている姿が見られました。 今週は、三者懇談です。進路について、落ち着いて担任の先生と話す機会です。自分の進 路希望について、しっかりと話をしてください。懇談内容を受けて、学習や日常の生活に活 かしていって下さい。

自己申告書指導講演会

| 1 | 月 | 1日(木)は、自己申告書指導講演会があります。

大阪府の公立高校を受験するときに提出する書類に、『自己申告書』があります。 高校の入試に関わる書類を作成しなければいけません。

大阪薫英女学院高等学校の先生をお招きして、41期生のために講演していただきます。

今回の講演会の資料は、夏休みの宿題で提出した、自己申告書をもとにして作成していただいています。十五中の41期生の特徴を捉えながら、これからどのように作成していったらよいか、しっかりと聴き、具体的な作成についての内容を身に付けていってほしいです。

- 11月11日(木)第1部、第2部の受講生は、各クラス掲示で発表します。
- 11日の懇談の日程も勘案しながら、

人数を調整する関係で、第1部と第2部に分けて指定しています。

もし、どうしても都合がつかない場合は、担任の先生を通じて相談してください。

※持ち物 筆記用具、講演会の冊子(11/10水終礼で製本します)、各自が夏休みに記入した自己申告書、令和4年度自己申告書用紙(11/11の終礼で渡します)

※11/10(水)昼休み、3-3、3-4の指示された生徒は、体育館から机の運搬、会場設営をお願いすることになります。

%11/11(木)講演会終了後は、3-3、3-4の第2部を受講した生徒が、体育館への机の 運搬、片付けをお願いすることになります。

☆:受講予定の中で、『私立高校の専願』に変更した人は、担任の先生に、『自己申告書指

導講演会に出席しません』と自分で申し出てください。

/

41期生受験の令和4年度のテーマです。

【テーマ】

あなたは、中学校等の生活(あるいはこれまでの人生)でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高等学校でどのように生かしたいと思いますか。できるだけ具体的に記述してください。

【第1部受講牛のタイムテーブル】

11月10日(水)

終礼時 講演会冊子を製本します。

(ホッチキスを持参してください) →製本後、自分の机に入れておきます。

11月11日(木)

終礼後 各HR教室で昼食をとります。

13:05まで トイレなどを済ませ、「講演会冊子 4部」、「夏休みに提出した自己 申告書」、「筆記用具」 と下校する荷物を持って、多目的教室へ移動

※ 女子は、多目的室の前側のドア、男子は、後ろ側のドアから入室してください。

また、上履きは、指定の場所に入れます。

13:15 講師の 大阪薫英女学院高等学校の先生 をお招きし、 ご講演をいただきます。

14:40 講演終了、先生がご退席します。

その後、女子から多目的室を出て、すぐの階段を降り、1階ろうかを経由し

て下足室へ行きます。男子は、女子の後に続き下校します。

3年生は「懇談中」、1, 2年生は、6限授業中です。さまたげにならないように、静かにすばやく、下校してください。

【第2部受講生のタイムテーブル】

11月10日(水)

終礼時 講演会冊子を製本します。

(ホッチキスを持参してください)→製本後、自分の机に入れておきます。

11月11日(木)

終礼後 「講演会冊子 4部」、「夏休みに提出した自己申告書」をもって、下校。

★「講演会資料を忘れない」、「指定の時刻より早く来ない」

15:00~15:15に再登校→1階ろうかを通り、多目的室前の階段をあがること。

15:15まで 「講演会冊子 4部」、「夏休みに提出した自己申告書」、「筆記用

具 | を持って、多目的教室へ移動 ⇒ 【懇談中につき、静かに入室】

※ 女子は、多目的室の前側のドア、男子は、後ろ側のドアから入室してください。

また、上履きは、指定の場所に入れます。

15:20 講師の 大阪薫英女学院高等学校の先生 をお招きし、

ご講演をいただきます。

16:45 講演終了、先生がご退席します。

その後、女子から多目的室を出て、すぐの階段を降り、1階ろうかを経由し

て下足室 へ行きます。男子は、女子の後に続き下校します。

※片付けにあたっている人は、その場に残ってください。